

2019 年秋学期の全時間訓練のための
メッセージアウトライン

主題：
クリスチャン生活

メッセージ 10
ぶどうの木であるキリストの中に住む生活

聖書：ヨハネ14:23, 15:1, 4-5, Iヨハネ2:6, 27-28, 3:24, 4:13, 15

- I. 農夫である父を伴うまことのぶどうの木であるキリストは、宇宙の、人の命の、人の歴史の、召会の、聖書の意義です——ヨハネ15:1, 4-5。
- II. まことのぶどうの木とその枝は、御子なるキリストと御子にある信者たちであり、神聖なエコノミーにおける三一の神の有機体であって、彼の豊富をもって成長し、彼の命を表現します——Iテモテ1:4, エペソ3:9, ヨハネ15:1, 5前半：
- A. 父なる神は農夫として源また設立者です。子なる神は中心、具体化、現れです。霊なる神は実際また実際化です。枝はからだ、団体の表現です——1, 4-5, 26節：
1. 御父であるすべて、持っているすべては、御子であるキリストの中に具体化され、実際としてのその霊の中で実際化されます——16:13-15。
 2. その霊が持っているすべては、枝であるわたしたちの中に造り込まれ、わたしたちを通して表現され証しされます。このようにして、手順を経た三一の神は召会の中で現され、表現され、栄光を受けます——エペソ3:16-21。
- B. ヨハネ第15章における三一の神の有機体は、三一の神と彼の選ばれ、贖われ、再生された民との結合、ミングリング、合併です——14:20。
- III. まことのぶどうの木の枝として、わたしたちはキリストの増殖、キリストの複製、キリストの拡張、キリストの拡大です——15:4-5, 16：
- A. 無限の神であるキリストはぶどうの木であり、わたしたちは彼の枝です。わたしたちは無限の神の枝であり、彼と有機的に一です——Iコリント6:17。
- B. わたしたちは神聖なぶどうの木の枝、三一の神の有機体の各部分ですから、命と性質において神と同じです——Iヨハネ5:11-12。
- C. わたしたちが主イエスを信じたとき、彼はわたしたちの中に枝を出し、わたしたちは彼にある枝となりました——ヨハネ3:15。
- D. わたしたちがぶどうの木の枝であるとは、キリストがわたしたちの命となったことを意味します——11:25, 14:6, コロサイ3:4。
- E. ぶどうの木は枝にとってすべてです。ぶどうの木から、またぶどうの木を通して、わたしたちは枝として生きるのに必要とするすべてを受けます——ヨハネ15:4。
- F. ぶどうの木としてのキリストは、枝を通してすべてのことを行ないます。彼がなければわたしたちは何もすることができませんし、わたしたちがなければ彼は何もすることができません——5節。

IV. ぶどうの木の枝であるキリストの枝として、わたしたちは彼の中に住む必要があります——4-5節：

- A. 主の中にあるとは結合の事柄です。主の中に住むとは交わりの事柄です—— I コリント1:9, 30。
- B. クリスマン生活は、主の中に住む生活です—— I ヨハネ2:24, 27-28. 4:13。
- C. わたしたちはミングリングされた霊の中で生きることによって、ぶどうの木であるキリストの中に住みます——ヨハネ15:4-5. I コリント6:17：
1. ぶどうの木はすべての枝の中で生きており、すべての枝はぶどうの木の中で生きています。枝々は相互に共生します——ヨハネ15:4-5, 7。
 2. 主の中に住むとは彼と一つ霊であること、すなわち、ミングリングされた霊の中で生きることです—— I コリント6:17。
- D. わたしたちがキリストの中に住む限り、正常なクリスマン生活の他の経験は自ずと付いてきます。ですから、わたしたちの唯一の必要はキリストの中に住むことです——ヨハネ15:4-5。

V. ぶどうの木であるキリストの中に住むとは、彼の中に居住し、彼との交わりの中にとどまることです。それによって、彼がわたしたちの中に住んでくださることを、わたしたちは経験し、享受します——4-5節. I ヨハネ2:27. 3:24：

- A. キリストの中に住むとは、神聖な三一の中で生きることです。すなわち、キリストをわたしたちの住まいとすることです——2:6, 24, 27-28. 3:6, 24. 4:13：
1. キリストの中に住むとは、御子の中に、また御父の中に住むことです (2:24)。これが、主の中にとどまり、居住することです (ヨハネ15:4-5)。
 2. キリストの中に住むとは、神聖な命の交わりの中に住み、神聖な光の中を歩くこと、すなわち、神聖な光の中に住むことです—— I ヨハネ1:2-3, 6-7. 2:10。
- B. キリストにわたしたちの中に住んでいただくとは、神聖な三一と共に生きることです。それは、キリストの臨在をわたしたちの享受とし、彼にわたしたちと一になっていただくこと、またわたしたちの存在のあらゆる部分とわたしたちの生活のあらゆる面と共にいていただくことです——マタイ1:23. 18:20. 28:20. II テモテ4:22. II コリント2:10. I コリント7:24：
1. キリストにわたしたちの中に住んでいただくとは、キリストの言葉をわたしたちの中に住まわせて、残る実を結んで、御父に栄光を得させることです——ヨハネ15:7-8, 16。
 2. キリストにわたしたちの中に住んでいただくとは、三一の神の臨在としての実際の霊に、わたしたちの中に住んでいただくことです——14:17。
- C. キリストの中に住むとは、わたしたちの主としての永遠の神である彼の中に住み、彼の中で生活し、彼をわたしたちのすべてとすることです——15:4-5. I ヨハネ4:15-16. 啓21:22. 申33:27前半. 詩90:1：
1. わたしたちは神の中に住み、絶えず彼の中で生きる必要があります。なぜなら、彼の外には罪と苦難があるからです——3-11節. ヨハネ16:33。
 2. 神をわたしたちの住まい、わたしたちの永遠に住む場所とすることは、神に対する最も高く、最も満ち満ちた経験です——詩第91篇。

VI. わたしたちがキリストの中に住み、彼にわたしたちの中に住んでいただくことは、彼を愛することによります——ヨハネ14:21, 23 :

- A. わたしたちが主イエスを愛するとき、彼はご自身をわたしたちに現します。そして御父が彼と共にやって来て、わたしたちと共に住まいを造り、わたしたちの享受となります。この住まいは相互の住まいであって、その中で三一の神はわたしたちの中に住み、わたしたちも彼の中に住みます——23節。
- B. わたしたちが主を愛すれば愛するほど、さらにわたしたちは彼の臨在を持ちます。わたしたちが彼の臨在の中にいればいるほど、さらにわたしたちは、わたしたちにとって彼であるすべてを享受します。主の回復は、主イエスを愛することの回復です——I コリント2:9-10. エペソ6:24。

VII. わたしたちがキリストの中に住んでいるのは、すべてを含む油塗りの内なる教えを顧みることによって、彼がわたしたちの中に住むためです——I ヨハネ2:27 :

- A. わたしたちがキリストとの神聖な交わりの中に住むのは、主の血の清めを経験することによってであり、油塗る霊をわたしたちの内なる存在に適用することを体験することによってです——ヨハネ15:4-5. I ヨハネ1:5, 7. 2:20, 27。
- B. かしらとしてのキリストは、油塗られた方であり、油塗る方でもあります。わたしたちは彼の肢体であって、彼を内なる油塗りとして享受し、彼の定められた御旨を完成します——ヘブル1:9. 3:14. II コリント1:21-22。
- C. 油塗りは、わたしたちの内側の複合の霊の動きと働きであり、そして神をわたしたちの中に油塗ります。それによってわたしたちは、神で浸透され、神を所有して、神の思いを理解します。油塗りは、からだのかしらであるキリストの思いを彼の肢体に伝えます。それは命の内なる感覚、内なる知覚によってです——詩第133篇. I コリント2:16. ローマ8:6, 27。

VIII. わたしたちがキリストの中に住み、彼にわたしたちの中に住んでいただくことは、わたしたちの外にある聖書の中の恒常的な言葉と、わたしたちの内側にあるその霊としての現在の言葉に、接触することによります——ヨハネ5:39-40. 6:63. II コリント3:6. 啓2:7 :

- A. 外側の書かれた言葉によって、わたしたちは奥義的な主についての説明、解釈、発表を持ちます。内側の生きた言葉によって、わたしたちは内住のキリストの経験を持ち、実際の主の臨在を持ちます——エペソ5:26. 6:17-18。
- B. もしわたしたちが主の恒常的な書かれた言葉の中に住むなら、彼の即時的な生きた言葉はわたしたちの中に住みます——ヨハネ8:31. 15:7. I ヨハネ2:14。

IX. 効果的な祈りは、わたしたちがぶどうの木である主の中に住むことと、彼の言葉がわたしたちの中に住んでいることの結果です——ヨハネ15:7 :

- A. 祈りは、人が神と協力し、神と同労して、人を通して神にご自身を表現していただき、こうして彼の目的を完成していただくことです。祈る人は、神と協力し、神と共に働いて、神にご自身と神の願いをその人の内側から、その人を通して表現していただきます——ローマ8:26-27. ヤコブ5:17 :
 - 1. 祈りは人と神との間の交流であり、人と神との相互の接触です。
 - 2. 祈りの真の意義は、わたしたちの霊の中で神と接触し、神ご自身を吸収することで

す——エペソ6:18。

3. 内住のキリストを経験し、キリストを生きる方法は、真正な方法で祈ることです——コロサイ1:27. 3:4. ピリピ1:20-21前半。
 4. わたしたちが必要とする祈りは、わたしたちを主との接触の中にもたらすような祈り、わたしたちの霊の中でわたしたちを彼と一とならせるような祈りです——Ⅱテモテ4:22. Ⅰコリント6:17。
- B. わたしたちが主の中に住み、彼の言葉がわたしたちの中に住んでいるとき、彼の言葉から一つの願いが出て来ます——ヨハネ15:7. Ⅰヨハネ5:14-15:
1. わたしたちは主の感覚に触れ、彼の意図を理解するようになります。その時、わたしたちの中に彼の願いがあるようになります。
 2. 彼の願いがわたしたちの願いとなり、彼の求めているものがわたしたちの求めているものとなり、わたしたちはこの願いにしたがって祈るようになります。
 3. 主はこのような祈りに答えます。なぜなら、それはわたしたちが主の中に住むことから、また彼の言葉がわたしたちの中に住んでいることから出たものであるからです。
- X. わたしたちはぶどうの木であるキリストの中に住むとき、真正な召会生活を持ちます——Ⅰコリント1:2, 9, 30. 6:17. 12:27:
- A. わたしたちはただ、ミングリングされた霊の中に生きることによってはじめて（この霊は、命を与える霊としてのキリストとわたしたちの霊とのミングリングです）、召会生活を持つことができます。わたしたちは召会生活のために、このミングリングされた霊の中にとどまるべきです——15:45後半. 6:17. 1:2. 12:27。
- B. 枝はぶどうの木と一であり、また他の枝と一です——ヨハネ17:11, 21-23。
- C. わたしたちはぶどうの木としてのキリストの中に住むとき、互いの枝の間ですばらしい交わりにあずかります——15:4-5. Ⅰヨハネ1:3-7:
1. すべての枝の内なる命は一であり、この命はすべての枝を通して絶えず流通すべきです——2-3節。
 2. 交わりは信者の間の相互の循環を暗示しています。この交わりは召会生活の実際、キリストのからだの中の生活の実際です——3節. Ⅰコリント1:2, 9. 12:13, 27。
 3. すべての地方召会是一つからだであり、このからだの中には神聖な命の循環があります。からだにおける神聖な命の循環は、からだのすべての肢体を一の中へともたらしめます——1:2. 4:17. 7:17. 11:16. 14:33. 16:1. 12:27. エペソ4:4。